

被災者支援活動ニュース

12月9日(金)、5回目となる「訪問・聴きとり」ボランティアがおこなわれました。この日は、兵庫県から中井次郎新温泉町議、来年4月の伯耆町議選に立候補する森下克彦さん、鳥取市、倉吉市の青年などが参加。午前と午後4組で行動し15軒と対話しました。この日も被災者の切実な声や要望が多数よせられました。この日のアンケートから被災者の声を紹介します。



- 屋根の修理になかなかこない。雨がふるたびに雨漏りしないかと、風が吹くと、ブルーシートが大丈夫かと心配している。屋根の修理は110万円から130万円かかるといわれた。離れもこわれたが住家ではないから支援はない。玄関のタイルは自分でなおした。わざわざありがとうございます。
- 屋根がこわれて、カベがくずれたので、解体屋さんをお願いして、家をつぶすことにした。数百万円はかかるでしょう。神奈川から母の片付けに

帰っていて地震にあいました。阪神淡路大震災のときは大阪で、東日本大震災は神奈川で被災し、今回で3回目です。母が共産党の国会議員さんが地震のことをとりあげてくれたと喜んでいました。

- 瓦がずれ、全部スレートに変えました。何百万円です。瓦を下ろすのにもお金がかかりました。り災証明がきました。7% (見舞金は5万円) でした。異議申し立てをして、二次調査もしてもらいました。(公明党のポスターがはられた家の奥さん)
- 柱にひび、カベもひび割れ。2次調査を依頼しました。屋根は200万円といわれました。
- 商品が地震でたくさんこわれました。漢の時代の陶器もこなごなになりました。商品は保険に入れません。1000万まではないですが、500万円以上の被害です。(骨董屋のご主人)
- 自分でブルーシートをはりました。今日は、風でバタバタしていて、これから自分でなおそうかと思っています。仕事場だから補償がないといわれました。(布団屋さん)
- ヒビが段々大きくなっている。風呂のタイルも段々剥がれていっている。一次調査にきたが、(見舞金) 1万円といわれ、すぐにいなくなった。中も見たい。二次調査も申請する。話を聴いてくれてうれしかった。ありがとう。



次回の「訪問・聴きとり」ボランティアは12月16日(金)です。午前9時と午後1時の二回おこないます。ぜひ、ご参加ください。